雑学書庫 知識の記録

転職は気軽に、暮らしは安心に、フレキシキュリティ（Flexicurity）

記事のURL

https://www.gklibrarykor.com/ja/article/11548/

PDFレイアウトのプレビュー - 本文の一部のみ

会社が苦境に陥って仕事を失っても、すぐ新しい仕事が見つかり、その間の生活費と教育が保障されるなら、職場を移ることもそれほど怖くないでしょう。反対に、一度入ると簡単には辞められない職場は安定していますが、会社も新しい人を採りたがらなくなり、仕事への門は高くなります。この二つの心配を一度に解こうとする試みがあります。 その名前が「フレキシキュリティ（Flexicurity）」です。柔軟性を意味する英語「flexibility」と安定性を意味する「security」を合わせた言葉で、企業が人を簡単に採用したり手放したりできる柔軟な労働市場と、仕事を失った人の生活を守る手厚い社会保障を、一緒に持つ方式です。この言葉は1990年代にデンマークの社会民主党出身の首相、ポール・ニュルップ・ラスムセンが作ったと言われています。 この資料では、フレキシキュリティが何を守る制度なのか、デンマークの「黄金の三角形」の構造、その根と費用、そして欧州連合へ広がった過程とそれへの批判まで、順に見ていきます。 柔軟さと心強さを一緒に握る制度 仕事ではなく人を守るという発想 フレキシキュリティの核心は、安定の対象を変えるところにあります。一つの会社の一つの席を生涯守る代わりに、どんな仕事に就いていても働く人の暮らしが揺らがないよう支えるのです。 (1) 柔軟性の二つの顔 柔軟性は、企業が人手を簡単に増やしたり減らし